

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 2 年度 第 2 回相模原市スポーツ推進審議会				
事務局 (担当課)		教育委員会 教育局 生涯学習部 スポーツ課				
開催日時		令和 3 年 3 月 3 1 日 (水)				
開催場所		(書面会議)				
出席者	委員	14 人 (別紙 1 のとおり)				
	その他					
	事務局	4 人 (スポーツ課長 他 3 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため				
会議次第		<p>(審議を書面で行った理由)</p> <p>新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員が一堂に会する方法により会議をすることが困難な状況ではあったが、諮問案件で早急な対応が求められていたため、議決の方法等について事前に取り決めを行い、書面により委員の意見・賛否を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。</p> <p>議題</p> <p>令和 3 年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について</p>				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり

1 諮問事案に係る書面審議について

令和3年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について

スポーツ課からの諮問について、質疑応答が行われた。

主な内容は次のとおり。(○は委員の質問、 は事務局の回答)

- 「不急」は誰にとって急ぎではないと考えるのでしょうか。イベントなどの事業が中止等凍結されると、それを目標にしていた人が目標を失い、スポーツから離れる又はその機会を失うこととなります。これはスポーツを推進する本会の目的ではないと考えます。コロナの影響により、本来の大会などのイベントができなくても、規模縮小開催やオンライン形式での開催など、新しい形でのスポーツをする機会を各協議会が考えてくれるのであれば、少しでも大会予算を計上してあげられないでしょうか。

各協議会等の活動については、それぞれの協議会で決定されるものと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症対策緊急シフトの考え方に鑑み、令和3年度に限り、市からの各協議会等の補助金は、団体の運営に係るもののみとし、事業費に係るものは予算計上ができなかったものです。今後も引続き地域と連携しながら、コロナ禍においてもスポーツをする機会の提供ができるよう検討してまいります。

2 賛否表明

諮問の内容を適当とすることについて、賛否表明書の提出があった。

票数結果は別紙 2 のとおり

書面審議の結果、令和 3 年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について、審議会から諮問の内容を適当とする答申を行った。

以 上

相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	安井 年文	学識経験者（青山学院大学教授）		出席
2	鈴木 秀知	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
3	加藤 慶子	学識経験者（トップアスリート）		出席
4	牛田 憲子	公募市民		出席
5	神藤 昭嘉	公募市民		出席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		出席
7	三塚 康雄	（公財）相模原市スポーツ協会		出席
8	阿部 高美	相模原市立小中学校長会		出席
9	八木 英樹	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
10	大山 孝	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
11	大谷 政道	相模原市公民館連絡協議会		出席
12	小出 庄作	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
13	渡辺 賢介	総合型地域スポーツクラブ（（特非）スポーツレクリエーションコミュニティー）		出席
14	高佐 華子	ホームタウンチーム（SC相模原）		出席

令和2年度第2回相模原市スポーツ推進審議会の書面議決の結果について

賛否表明の票数結果

議題 令和3年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について

答申書(案)のとおり適当なものとして答申することについて

賛成 14 反対 0

議題の可否の結果

議題について、過半数の賛成をもって可決され、別紙のとおり答申する。